

I 教育理念 教育目的 教育目標

教育理念

1. 人間愛を基盤とし、生命を尊重する。
2. 科学的思考に基づいた看護の実践力を身につける。
3. 自己の責務を自覚し、社会の変化に対応できる専門職業人となる。

教育目的

看護師としての必要な知識・技術及び態度を習得させるとともに、健全で調和のとれた社会に貢献し得る有能な人材を育成するための専門教育と人間教育を行う。

教育目標

1. 人間を尊重し、身体的・精神的・社会的に統合された存在でとして幅広く理解する能力を身につける。
2. 人々の多様な価値観を認識し、専門職業人としての倫理に基づいた看護を実践できる基本的能力を身につける。
3. 対象を中心とした看護を提供するために、看護師としての人間関係を形成するコミュニケーション能力を身につける。
4. 健康や障害の状態に応じた看護を科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を身につける。
5. 保健・医療・福祉制度と多職種の役割を理解し、チーム医療を実践する人々が社会的資源を活用し連携・協働できるよう、それらを調整するための基礎的能力を身につける。
6. 専門職人をめざす者としての自覚を持ち、自ら学び続ける能力を身につける。

II 主要概念枠組

本校では、主要概念を「人間」「環境」「健康」「看護」とし、次のように定義する。

「人間」とは、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合体である。そして、環境との相互作用の中で発達課題をもち、絶えず変化し成長発達する。

「環境」とは、自然・社会・文化・生活などの外部環境と生命体としての内部環境があり、その環境は、人間に直接的・間接的に作用し、健康状態を変化させる。

「健康」とは、自己実現をめざして個々の能力を最大限に活用し、環境に適応している状態である。

「看護」とは、論理的思考を用いて、対象であるその人間の健康上の問題を明らかにし、もてる力を最大限に活用できるように支援することである。そのためには、対象との人間関係のプロセスを通して、科学的根拠をもって援助の必要性を判断し、看護独自の技術を用いて、対象自らの主体的な行動変容を促し、個別に課題解決を行う能力を必要とする。